

2022

6
月号

県民の森 だより



宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷字菅野沢41
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料 : 無料
利用時間 : 4月~10月 / 9時~16時30分
11月~3月 / 9時~16時

HPはこちら!

中央記念館南斜面の《サツキ園》は今年も月初め、みごとな紅白の花園を見てくれ、園内は緑を深めています。「マタタビ」は葉の表面を白く化粧し葉の裏側に白い花の存在を示し、「ヤマボウシ」も白い帽子の真ん中に丸い花を付け、葉の上に顔を出し昆虫を呼び込む為の化粧で森の中を明るくしています。

また、遊歩道沿いでは、ウグイスや渡り鳥のさえずりが心地よい散策を約束してくれています。この静かな森の中で心身のリフレッシュをお勧めいたします。
(所長:蜂谷仁)

勝ち虫ファミリー
トントボ展示会

6月5日から28日まで、中央記念館小ホールにて『勝ち虫ファミリー』による『トンボの展示会』が開催されます。

今回は初夏のトンボを中心にご紹介します。県民の森にも住んでいるムカシヤンマも登場!
お楽しみに!!

■クマ・イノシシ注意!!■

毎年、暖かくなると冬眠から目覚めたクマが市内のあちこちに出没します。県民の森でもすでに数件の目撃情報があります。また、最近はイノシシの掘り返しの跡も頻繁にみられています。

園内の巡回強化や放送での周知等も行っておりますが、散策の際には、早朝や夕方を避け、クマ鈴やラジオなどを携帯し、クマやイノシシに人がいることを知らせながら歩いてください。



目撲した時には、すぐに管理事務所までお知らせください。
022(255)8801

スケッチ県民の森

旧暦の5月(現在の6月)に咲くことから『サツキ』と呼ばれています。開花状況の電話でのお問い合わせで『ツツジ』と混同され『まだ、咲かないのですか?』と催促されます。

ツツジより約半月ほど遅く咲き始め、ツツジのように一斉に咲くことはありません。それでも最盛期には赤色と白色の見事な花が県民の森の観光スポットになっています。

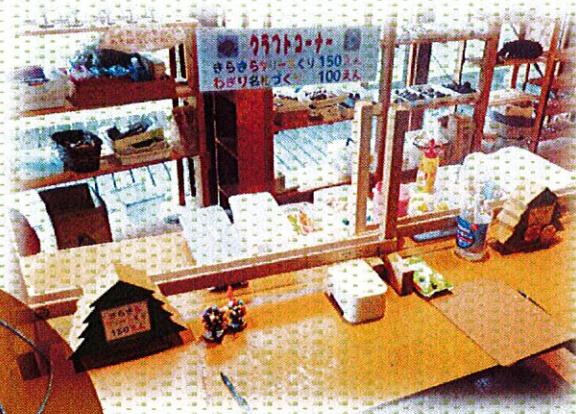
サツキ園



梅雨入りを間近に控えたこの時期に爽やかな風に吹かれて散策はいかがでしょうか。(絵と文:千葉)

◆青少年の森コーナー◆もりの学び舎大解剖編 vol.8◆

もりの学び舎には会員によるたくさんのクラフト作品を展示しています。それを見てネイチャークラフトに挑戦したくなったら、ぜひお声掛けください！



もりの学び舎では、『輪切り名札』(100えん)と『キラキラツリー』(150えん)の2種類に挑戦できます。自分だけの素敵な作品をつくつてみてくださいね♪

サンショウクイ (サンショウクイ科) 山椒喰

広葉樹の緑が鮮やかになった頃、高いところでヒリリンヒリリンと聞こえたらサンショウクイ(約20cm)がやってきました。さえずりながら樹間を飛び、高い梢に止まります。

頭から背が黒っぽい灰色、お腹は白、少し長めの尾、体を少し立ててピシッととまるのでスマートな印象です。

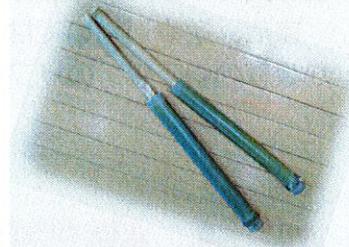
昆虫やクモをたくさん食べて日本で繁殖し、秋の始まりには群れになって帰ります。

名前の由来は、辛い山椒を食べヒリヒリと鳴いていると、たとえたそう。(絵:秀・文:もち)



6月の活動イベント Let'sクラフト 竹の水でっぽう

6月26日(日)
10:00~12:00
定員20名
1本600えん



森と遊ぼう!

森のお散歩、初心者編!
6月17日(金)
10:00~12:00
定員10名 200えん

けんみんのもり写真館

今月の

スタッフが見つけたせんのひとコマ



シオカラトンボ (シオカラトンボ属) 塩屋蜻蛉

春一番に現れるトンボで、7月頃までよくみられます。シオカラトンボよりも少し小さめ。

オスとメスでは身体の色が違い、メスは褐色がかかった黄色。

この写真はオス。身体全体がきれいな淡い青です。未成熟のオスはメスと同じ色ですが、成熟すると白い粉をふきます。それを塩にみたてて名付けられました。

なわばり意識が強く、オス同士で激しいバトルをしていることが多いとか!?(田沢)

イチヤクソウ (ツツジ科) 一葉草 別名ロクティソウ(鹿蹄草)

名前は全草を乾かし薬用としたことから名付けられました。

葉は常緑で根ぎわに集まってきます。葉の間から20cmほどの花茎を立て、ウメの花に似た花を2~10個ほど下向きにつけて遊歩道わきにひっそりと咲いています。

花期 6~7月 (駒野)

